

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告 (第74回)

実施日時:2017年9月27日(水) 10:30~14:30

参加者:豊田先生、金子先生、廣岡先生、中田先生、

クラブ員(17)+ほか(1) = 22名

活動場所:園芸療法ガーデン、東作業室

スケジュール:10:30~ 花壇維持管理、草取り

12:00~ 昼食をとりながら懇親

13:00~ ミニ講座 講師;廣岡先生、中田先生

①挿し芽・挿し木の鉢上げ

②樹木の蓄積している二酸化炭素の量を調べよう

~発根した挿し穂のポットへの植え替え と

二酸化炭素の樹木の吸収量と人の排出量との関係を考えます~



~ ~ 今後の予定 ~ ~

<2017> 10/25 11/22 12/20* <2018> 1/31** 2/28 3/28

毎月 第4水曜日 ただし、12/20*は第3、1/31**は第5水曜日

(変更の場合がありますので、案内メールでご確認をお願いします)

キャンパス内ではヒガンバナにモンキアゲハが舞い、秋の深まりが感じられる季節を迎えました。

今日は、午後から雨の予報ですが、園芸療法の先生の研究・教育をテーマにしたTV番組用の取材が午後行われる予定で、“動く絵”として園芸療法ガーデンでの午前のボランティア作業も撮影対象に入ることになっています。カメラを見て少し緊張気味ですが、久しぶりの方や新入会の方など多くの皆さんが定刻に集まりました。

新メンバーの紹介や注意事項などのミーティングの後、今日の作業の主な対象の展示園ゾーンに移り、説明が豊田先生からあり、入り口付近のロシアンセージの切り戻し、紅葉の始まったハナミズキやこの時期に開花したブラシノキの周辺で雑草抜き、伸び切ったキンシバイの剪定、広がったアップルミントなどのハーブの引き抜きなど、幅広くそれぞれの持ち場で、時折取材クルーの方とおしゃべりしながら、普段どおり作業を進めました。

途中、水分補給の休憩をとり、大きく色づいたカリヤドライフラワーになって垂れ下がった色づいたカシワバアジサイを見ながら作業を再開し、実習園ではセンニチソウの花摘みなどを行い、予定どおり、正午前に今日の作業が

終了しました。

東作業室に移動。Hさん、Kさんのゴボウなど野菜たっぷりの味噌汁がふるまわれ、お手製のおはぎなどの差し入れもあり、美味しく食事を頂き、楽しい昼食タイムを過ごしました。

ミニ講座は、6月の挿し木・挿し芽のポット上げ。この間、廣岡先生・中田先生に管理をお願いしました。ありがとうございます。

今年は、2グループ延べ44種を挿したのですが、残念ながら発根率が芳しくなく、若い挿し穂を選ぶ、十分な水揚げ、挿し芽時に丁寧な作業を行うなど課題を残した実習結果になりました。

続いて、樹木の二酸化炭素の吸収量の調べ方を樹木の体積を測る測高器や輪尺の実物を見ながら、廣岡先生から説明をお聞きしました。時間の関係で割愛されましたが、身近な樹木が何人分のヒトの排出量を吸収できるか、計算にチャレンジしてみたいと思います。

午後は雨模様になりましたが、園芸療法をお手伝いする活動を皆さんにお伝えする場面に多くのメンバーの方が立ち会い、有意義な一日となったように思います。皆さん、お疲れさまでした。 <世話人:植田(9/29記)・小柳>